

**特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター**

---

2020（令和2）年度事業計画及び予算

# I 2020（令和2）年度事業計画

■■■■■ with コロナ社会における私たちの基本姿勢■■■■■

with コロナ社会であっても、私たちは立ち止まらない。  
状況に応じたやり方をその都度生み出し、  
将来を見据えた地域づくりの歩みを後押しし続けます。

コロナ禍によって対面・集合型での事業実施が難しい状況となっています。  
しかし、私たちは闇雲に一律中止という判断はしません。

置かれている地域の状況を冷静に見極め、一つ一つを慎重に判断し、  
どうやったら・どこまでなら実施できるかを懸命に考え、  
細心の注意を払いながら行動を起こしていきます。

いまは自粛が基本となっていますが、  
これからは徐々に日常の営みを取り戻していくことが大切になります。  
まずはできる範囲から。やり方を大きく変えることも時には必要でしょう。

## 「歩きながら考える」

この基本姿勢のもと、私たちは前に進んでいきます。

## 【重点方針 2020】

※都岐沙羅ビジョン 2018（次頁参照）を踏まえつつ、2020年度は以下の方針を重視して事業を展開していきます。

### ①オンラインと対面・参集形式を組み合わせた方法を構築していきます。

- ▷コロナ禍以降、これまで対面型・集合型での実施していた事業（特に講座・研修会等）は、オンライン化への移行が急激に進み、そのニーズは日に日に高まっています。
- ▷私たちが実施する事業についても、ICTの活用をこれまで以上に積極的に進め、オンライン化への対応をさらに加速させていきます。ただし、オンラインを単なる対面コミュニケーションの代替手段とはしません。可能な限りオンラインとオフライン（対面形式）を組み合わせた「ハイブリッド型」での実施を常に模索し、コロナ禍発生前よりも多様なコミュニケーションがとれる状況・環境を生み出していきます。

### ②深刻化が進む地域課題に対し、能動的にアクションを起こします。

- ▷人口減少・少子高齢化の急激な進展に伴い、さまざまな地域課題が顕在化・深刻化しはじめています。しかしながら、その解決に向けた取り組みの歩みは遅々としており、効果的な手の打ち所すら見いだせていないものも少なくありません。
- ▷こうした状況を受け、私たちは深刻化する地域課題に対して、今まで以上に積極的に行動を起こしていきます。外部講師を招いた勉強会の開催、社会実験の実施など、関係機関・団体と協働し、地域課題の解決に向けた取り組みを加速させていきます。

## 【都岐沙羅ビジョン 2018】

※私たちが重点的に取り組むべきことを方針としてまとめたものです。2018（平成30）年度より、この方針に基づいて事業を展開しています。

- I 地域の将来を冷静に見据え、今まで以上に分野の壁を超えた横断的な取り組みを増やす。  
▷特に「福祉」と「教育」の分野で、地域との多様な協働・連携を促す。
- II これからの時代に即した組織体制のあり方と担い手の育成システムを探究し、その実践を積極的に促す。  
▷地域・社会の変化に対応し、持続可能性を高める「変革」を積極的に働きかける。
- III 地域内外の人材の相互交流の裾野を広げつつ、交流密度を高めるための新たな仕組みを探究・実践する。  
▷多様な人材が参画・協働して地域課題の解決にあたる仕組みを模索・試行する。

## 1. 特定非営利活動に係る事業

### 1-1 特定非営利活動に係る事業の実施方針

多様な主体・分野・地域の中間に立ち、相互の連携・協働を円滑に促す潤滑油となって能動的に地域の元気づくりと持続可能性の向上に繋がる事業を開拓・実施していく。

### 1-2 実施する事業

#### 1) 住民活動支援事業

村上地域内の住民活動を質的・量的に高める各種支援を実施する。

- 【主な事業】
- ①住民活動支援窓口の開設
  - ②街なか拠点の運営協力
  - ③事務支援事業

#### 2) コミュニティビジネス／ソーシャルビジネス支援事業

コミュニティビジネス／ソーシャルビジネス（以下、CB/SB）の立ち上げや、ネットワーク型事業のプロデュース・コーディネート、CB/SB 育成・支援に関するノウハウ移転事業等を地域内外で実施する。

- 【主な事業】
- ①CB/SB の立ち上げ支援
  - ②ネットワーク型のCB/SB のプロデュース・コーディネート事業 等

#### 3) 地域ツーリズム開発・プロモーション事業

グリーン・ツーリズムや着地型観光、都市農村交流等の地域ツーリズムを推進していくために、新たなプログラム開発や各種プロモーション事業等を実施する。

- 【主な事業】
- ①村上地域グリーン・ツーリズム協議会事業の推進及び事務局業務の実施
  - ②村上・岩船地域への誘客につなげるための各種プロモーション事業の実施
  - ③朝日まほろば夢農園事業の推進
  - ④新たな観光・ツーリズムの開発・コーディネート 等

#### 4) 地域づくり事業のコーディネート

地域づくりに関する各種事業のコーディネート等を実施する。

- 【主な事業】
- ①課題解決型事業の育成に係る事業
  - ②地域まちづくり組織への各種支援
  - ③地域おこし協力隊／集落支援員への各種支援
  - ④林業体験プログラムのコーディネート
  - ⑤地方公共団体等から受託した地域づくりに関する事業の実施
  - ⑥小規模多機能自治の推進・普及

#### 5) 商品開発・販路開拓支援事業

農商工連携や多様な主体・分野が連携して行う新商品・新サービス開発や販路拡大のための各種支援を実施する。

- 【主な事業】
- ①商品開発・販路開拓に関する各種支援

#### 6) 情報受発信事業

地域内外の地域づくりに関連する情報の収集・発信を多様な媒体を通じて実施する。

- 【主な事業】
- ①インターネットを活用した情報発信

#### 7) 講師派遣・視察受入

地域内外からの依頼に応じて、各種講演会や研修会などへの講師を派遣する。

当組織や地域内のCB/SB事業者、各種地域づくり団体への視察受入・コーディネートを行う。

## 2. その他事業

### 2-1 その他事業の実施方針

まちづくり・地域づくりに関する情報提供の一環として、関連する書籍等の販売を行う。

### 2-2 実施する事業

#### 1) 物販事業

まちづくりに関連する出版物等の委託販売を行う。

# II 2020（令和2）年度活動予算

2020年7月1日～2021年6月30日

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

科目・摘要	2019年度決算	2020年度予算	増 減	備 考
<b>I 経常収益</b>				
1) 受取会費	360,000	<b>375,000</b>	15,000	
正会員受取会費	99,000	105,000	6,000	
賛助会員受取会費	261,000	270,000	9,000	
2) 受取寄付金	0	<b>0</b>	0	
3) 受取助成金等	41,469	<b>3,596,000</b>	3,554,531	
①受取民間助成金	41,469	1,536,000	1,494,531	新潟ろうきん福祉財団からの助成金
②受取行政補助金	0	2,060,000	2,060,000	持続化可能給金+新型コロナ対策補助金
4) 事業収益（特定非営利活動に係る事業）	22,744,282	<b>16,554,000</b>	<b>-6,190,282</b>	
①住民活動支援	4,000	4,000	0	
②CB/SB支援事業	0	0	0	
③地域ツーリズム開発・プロモーション事業	2,358,200	1,600,000	<b>-758,200</b>	
④地域づくり事業のコーディネート	14,369,546	6,750,000	<b>-7,619,546</b>	
⑤商品開発支援事業	0	0	0	
⑥情報受発信事業	0	0	0	
⑦講師派遣・視察受入	6,012,536	6,000,000	<b>-12,536</b>	
その他事業収益		2,200,000		
5) 事業収益（その他事業）	0	<b>100,000</b>	100,000	
(1) 物販事業	0	100,000	100,000	
6) その他収益	5,580	<b>0</b>	<b>-5,580</b>	
受取利息	18	0	<b>-18</b>	
受取配当金	300	0	<b>-300</b>	
雑収入	5,262	0	<b>-5,262</b>	
経常収益 計	23,151,331	<b>20,625,000</b>	<b>-2,526,331</b>	
<b>II 経常費用</b>				
1) 事業費	19,424,377	<b>17,699,000</b>	<b>-1,725,377</b>	
①人件費	13,007,721	<b>11,573,000</b>	<b>-1,434,721</b>	
給与手当	5,885,000	5,895,000	10,000	事務局職員人件費（常勤3名）
臨時雇用賃金	101,700	0	<b>-101,700</b>	
法定福利費	770,371	828,000	57,629	社会保険料事業主負担分
事業スタッフ報酬	6,250,650	4,850,000	<b>-1,400,650</b>	
②その他経費	6,416,656	<b>6,126,000</b>	<b>-290,656</b>	
事業費	6,416,656	<b>6,126,000</b>	<b>-290,656</b>	
2) 管理費	3,015,036	<b>2,892,860</b>	<b>-122,176</b>	
①人件費	1,066,358	<b>995,400</b>	<b>-70,958</b>	
給与手当	575,000	580,800	5,800	事務局パート職員（経理1名）
法定福利費	89,683	94,600	4,917	
福利厚生費	113,675	32,000	<b>-81,675</b>	健康診断
退職金積立	288,000	288,000	0	退職金積立
②その他経費	1,948,678	<b>1,897,460</b>	<b>-51,218</b>	
外注費	216,000	220,000	4,000	税理士決算支払報酬
旅費交通費	406,330	410,000	3,670	職員移動交通費/事務局長交通費
事務用品費	386	1,000	614	
消耗品費	6,398	6,000	<b>-398</b>	
印刷費	47,012	100,000	52,988	名刺/封筒/パンフレット等
通信費	33,076	35,000	1,924	電話代・メール便・切手
使用料及び借料	4,350	5,000	650	
広告宣伝費	5,400	5,500	100	
会議費	21,000	20,000	<b>-1,000</b>	
保険料	29,551	30,000	449	NPO活動総合保険
接待交際費	0	0	0	
支払手数料	3,944	3,960	16	
諸会費	43,000	43,000	0	
租税公課	8,050	8,000	<b>-50</b>	契約用収入印紙
支払利息	41,469	20,000	<b>-21,469</b>	当座貸越利息
法人税・住民税及び事業税	70,062	70,000	<b>-62</b>	
消費税納付額	991,000	900,000	<b>-91,000</b>	
雑費	21,650	20,000	<b>-1,650</b>	
3) 予備費		<b>33,140</b>	33,140	
経常費用 計	22,439,413	<b>20,625,000</b>	<b>-1,814,413</b>	
当期正味財産増減額	711,918	<b>0</b>	<b>-711,918</b>	
前期繰越正味財産額	2,041,483	<b>2,753,401</b>	711,918	
次期繰越正味財産額	2,753,401	<b>2,753,401</b>	0	